

パナック

CSR 報告書 2010

[2009年度実績]



経営理念

パナックは、グローバルな視野に立ち
「地球環境保護・人々の生活の質の向上」に
貢献できる真の価値ある企業を目指す。

そのために

経営目的

- ▶ お客様の立場に立って、常に新しい提案を、商品やサービスの形で提供し続けます。
- ▶ メーカーから、無くてはならない存在として信頼される「現場に強い」企業となります。
- ▶ 我が国をはじめ、世界の各地域で、現地に根をおろした健全な経営活動を通して、その社会の経済発展や文化の向上に積極的に貢献します。
- ▶ 社員は、会社の宝である。社員一人ひとりの夢をかなえる場として、創造性豊かな風土をつくり、社員の自己実現に寄与します。

◎ <http://www.panac.co.jp/about/policy.html>参照。

◎編集方針

この「CSR報告書2010」は、パナックの2009年度（2009年4～2010年3月）のCSR活動についてまとめた報告書です。

パナックと関わりのある全てのステークホルダーの皆様、ならびに従業員各位にお読みいただきたいと考えております。

品質保証部CSR推進課

CONTENTS

■ 経営理念	01
■ 編集方針	01
■ トップメッセージ	02
■ パナックコンセプト	03
■ コーポレートガバナンスの推進	04
内部統制の構築・運用	
CSR推進体制	
■ 2009年度CSR活動計画と自己評価	05
■ コンプライアンスとリスクマネジメントの推進	06
パナック企業行動憲章・行動規範	
ホットライン	
行動規範勉強会	
コンプライアンス意識調査	
リスクマネジメント活動	
新型インフルエンザ対策	
■ 環境・安全の推進	08
環境負荷物質の削減	
チームマイナス6%活動への参加	
化学物質管理	
ISO14001認証取得の推進(富士宮工場)	
労働災害度数率	
防災訓練	
■ 品質保証と顧客満足度の推進	10
ISO9001 マネジメントシステム	
クレームへの対応	
QC研修	
■ 社員の成長とワークライフバランスの推進	11
育児支援、障がい者休暇・雇用の推進	
過重労働対策・メンタルケアの推進	
■ CSR調達の推進	12
購買基本方針	
サプライチェーン CSR推進ガイドブック	
グリーン調達	
■ 社会貢献活動の推進	13
義援金寄付・文化活動の協賛	
工場周辺清掃活動	
■ 会社概要	14

TOP MESSAGE

パナックCSR方針



プラスチックフィルムを通して、
新しい価値を追求し、
健全で幸福な社会の
発展に貢献していきます。

企業は、社会に有益な製品・サービスを提供することで社会に貢献し、それにより企業価値を高めています。また、同時に持続的な発展ができるよう、社会での活動を続けなければならない存在です。そのためには、経営の一環として、CSR(企業の社会的責任)が必須となってきています。

パナックは、CSRを「企業が社会の中で、持続的に発展するために、社会に対して果たすべき責任」として認識し、経営を行っています。つまり、パナックを取りまくあらゆるステークホルダー(顧客、取引先、従業員、地域社会、株主など)に配慮した経営を行うことです。

具体的には、経営の視点を従来の経済的視点ばかりでなく、社会を加えたCSRという新しい視点から発想することにより、継続的に社員・パナックの意識、意思決定、行動を変化させ、社会とパナックの持続可能性を高めることです。

今後も、パナックは、プラスチックフィルムを通して、新しい価値を追求し、健全で幸福な社会の発展に貢献していきます。

2010年9月
パナック株式会社

代表取締役社長

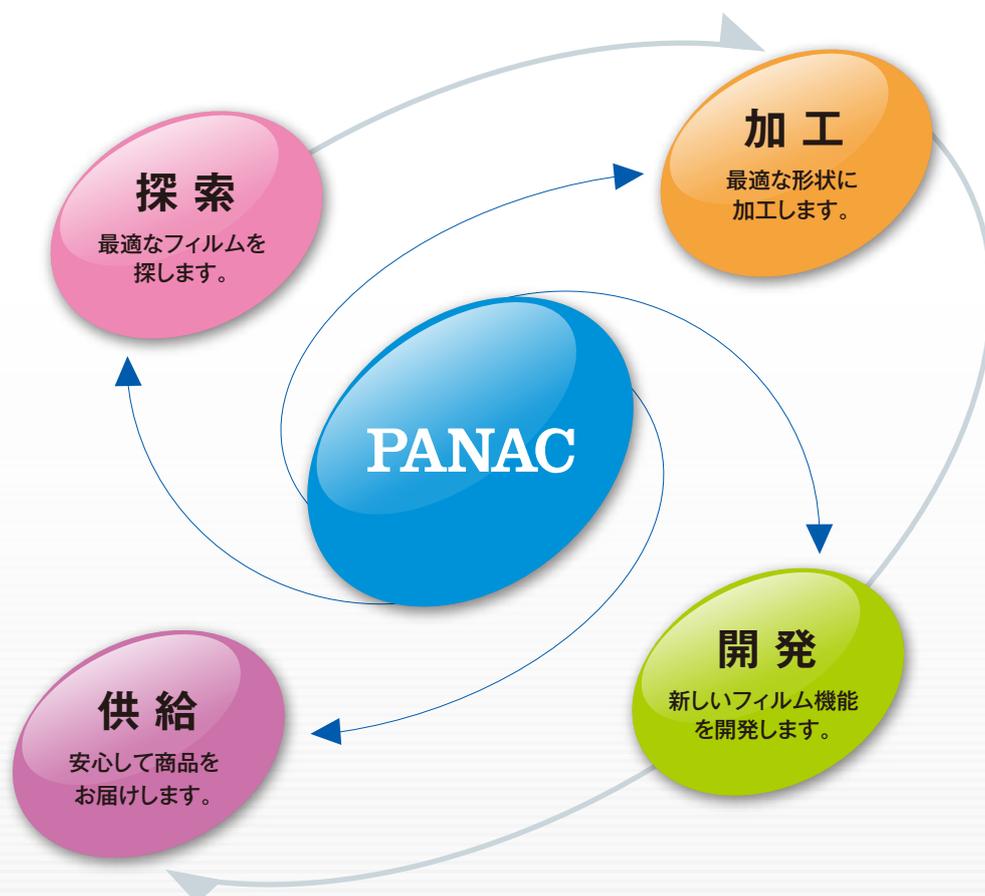
宮下 正博

THE PANAC CONCEPT

パナックコンセプト

お客様のために いろいろな答えを出せる商社をめざして

パナックは機能性フィルムの専門商社です。私たちは、お客様にとってどのようなカタチでフィルムをお届けするのが最適であるかを考え、それを実現するために対応力の充実に取り組んできました。その結果、商品をお客様に確実にお届けするというだけでなく、数多くのフィルムの中から最適なフィルムを「探索」し、フィルムを最適な形状に「加工」、さらにはフィルムに新たな機能を持たせられるよう「開発」し、安定的に「供給」という4つの機能を合わせ持った特徴ある商社に発展を遂げてまいりました。これも、振り返ればすべてはお客様のご要望に、いかにお応えできるかを追求してきた結果であると私たちは考えています。パナックはこれからも、お客様にとって価値ある商社であり、お客様にとっての価値を創造できるパートナーとして認めていただけるよう努力を続けてまいります。



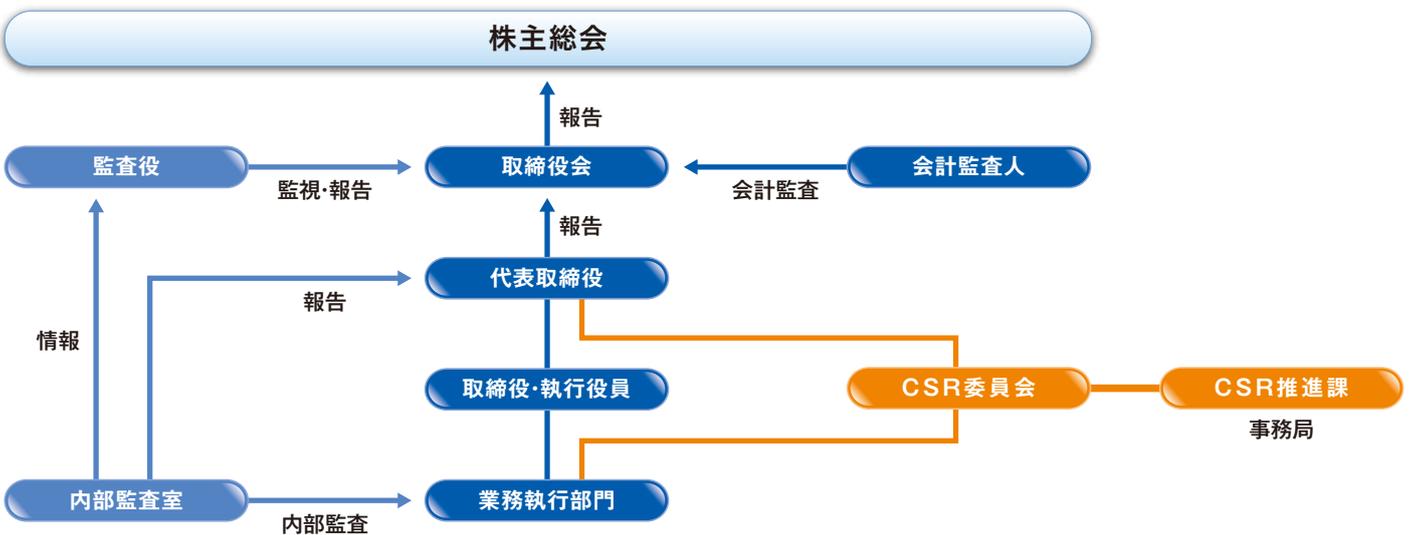
コーポレートガバナンスの推進



パナックは、経営理念を実現するために、経営の効率化、透明性、健全性の維持に努めています。これらの活動により、継続的に企業価値を創造し、全てのステークホルダーから信頼され、満足いただける魅力ある企業を実現させ、社会とパナックの持続性を高めていきたいと考えています。

当社は、適正な監査を通して、現状の経営システムを最大限に機能させることにより、公正、透明、かつ迅速な経営執行を実現したいと考えています。

また、当社全体の内部監査機能を担当する部門として、内部監査室を設けています。2010年度からは、経営の意思決定・監督機能と業務執行機能を分離し、経営および業務執行に関わる意思決定のスピードアップを図るとともに、監督機能を強化することを目的に、執行役員制度を導入しました。



内部統制の構築・運用

2006年の会社法の施行に伴い、パナックは、2006年5月、

- ①業務の有効性・効率性
- ②財務報告の信頼性
- ③事業活動に関わる法令遵守
- ④会社資産の保全

等の業務の適性を確保する事を目的として、内部監査室、内部通報制度(ホットライン)、リスク管理委員会を順次設置し、取締役会の責任と権限で、会社運営を行う内部統制システムを構築し、運用しています。

CSR推進体制

パナックは、2008年にCSR委員会、CSR推進室(現在は、品質保証部CSR推進課に改組)を新設し、CSR活動に取り組む体制を作りました。

CSR委員会は、社長を委員長とし、パナックのCSRに関する基本方針・総合施策の審議・決定とパナックで実施するCSR活動を総括します。

CSR推進課は、CSR委員会の事務局としてCSR基本方針・施策の企画、CSR関連の情報の収集、パナックのCSR活動の進捗状況の把握・評価の取りまとめ、取引先のCSR調達調査に対する回答、CSR委員会で決定されたCSR活動項目の推進等を行っています。

2009年度CSR活動計画と自己評価



区分	テーマ(項目)	主な活動計画	活動実績	自己評価	2010年度の課題
誠実な企業活動	CSR全般	・CSR推進体制の整備・推進	・2回のCSR委員会を開催 ・取引先からのCSR調達調査16社に回答 ・四半期毎の全社CSR活動実績をCSR委員会に報告	◎	・会社組織変更によるCSR推進組織の見直し
	ガバナンス	・リスクマネジメント推進 BCPの策定	・リスク管理委員会を7回開催	△	・外部コンサルタントの活用
	コンプライアンス	・行動規範の浸透と教育の推進	・中国版行動規範を作成 ・5/末浸透度調査を実施 調査結果を全社員に開示 ・10~11月第2回行動規範勉強会を国内対象に実施	◎	・第2回浸透度調査の実施 ・第3回行動規範勉強会の実施
	情報開示	・ステークホルダーへのPR HPへのCSR関連項目の掲載	・案は作成したが、掲載には至らず	△	・HPへの掲載 ・2009年度のCSR報告書の発行
	市場	・QMS活動の推進 2008年版への移行準備 ・与信管理の推進 ・CSR調達方針・規準の推進 ・グリーン調達の推進 ・下請法の遵守	・品質マニュアル・二次文書を2008年度版に改訂 ・内部監査、維持審査実施、移行審査受審 ・新会計システムを10月より導入 ・案を作成したが、制定には至らず ・グリーン調達基準書を取引先に配付 ・基本契約書の見直しを実施	○	・2008年度版への移行審査 ・与信管理の更なる推進 ・CSR調達方針・規準の制定、取引先へのPR ・外注先への徹底 ・下請法の遵守
人間尊重	活力ある組織・人作り	・ワークライフバランスの推進 ・労働安全衛生の推進	・ノー残業デー2回/週の実施 全社残業時間対前年▲13.4% ・毎月の安全衛生委員会・安全巡視/5Sの実施	○	・教育制度の構築 ・無災害の達成
環境との調和	環境経営	・EMS活動の推進 ・化学物質(VOC、PRTR)の削減 ・廃棄物の削減 ・チームマイナス6%活動の推進	・富士宮工場EMS認証取得推進組織を発足(34期認証取得予定) ・亀山工場内部監査、維持審査を実施 ・塗剤使用量は月次で監視 ・VOC処理能力を確認 ・PET廃材を有価物処理化 ・クールビズ、ウォームビズの実施	○	・富士宮工場EMS認証取得 ・具体的な削減計画の推進 ・他のエネルギーの削減
社会との調和	社会貢献活動	・社会貢献活動の推進	・富士宮・亀山工場周辺の清掃活動実施(1回)	△	・清掃活動以外の活動の推進

◎…目標達成
○…目標達成50%以上
△…目標達成50%以下

コンプライアンスと リスクマネジメントの推進



パナック企業行動憲章・行動規範

CSRを推進する上で、その担保であるコンプライアンス(法令遵守)に取り組む事は、必要不可欠です。

コンプライアンスは、言い換えればビジネス社会のルールの遵守です。

パナックのビジネス社会のルールとして、企業行動憲章・行動規範を2008年に制定しました。



◎ <http://www.panac.co.jp/csr/policy.html>参照。

ホットライン

職場で発生したコンプライアンス上の問題は、職場で解決することが基本ですが、職場の上司に相談しても解決できない場合や、相談することが難しい場合に、職制や組織を飛び越えて相談・連絡ができるよう「ホットライン」を設置しました。

また、パナック企業行動憲章・行動規範を遵守する上で、内容などに疑問が生じたり、違反の事実を知ったりした場合にも相談できます。勿論、相談した事を理由に、相談者が不利益を受ける事はありませんし、相談者の秘密も守られます。

2009年度の、相談件数は、2件でした。

内訳は、ハラスメント関係でした。厳正な調査・対策を取りました。

行動規範勉強会

昨年に引き続き、第2回目の行動規範勉強会を実施しました。

今回は、第1回目のコンプライアンス意識調査結果を踏まえて、特に、ホットラインについて重点的に、勉強会を行いました。

出席率は、前回と比べ、残念ながら96.1→93.8%に低下しました。次回、出席率UPの方策を検討・実施する予定です。

対象者	国内全従業員(役員、社員、嘱託、準社員、派遣、請負)
開催場所	本社、堀切、富士宮工場、亀山工場
日程	2009/10/19~2009/11/10、 2010/2/22 計9回
勉強会の内容	コンプライアンス/企業行動憲章・規範/ 社内ホットラインの説明・解説、質疑応答
出席者	350名
出席率	93.8%

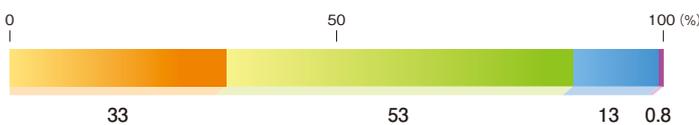
コンプライアンス意識調査

コンプライアンス推進への取組が従業員の意識向上に繋がっているかを確認するため、全従業員を対象に、2009年第1回目のコンプライアンス意識調査を実施しました。

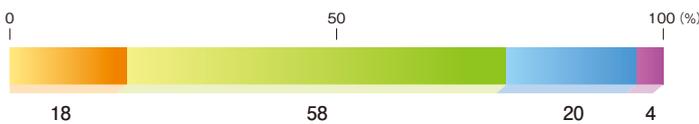
調査結果を見ると、コンプライアンスの理解・浸透度については、まだまだです。

第2回目の行動規範勉強会を受けて、2010年度も引き続き第2回目の意識調査を行う予定です。

▼あなたの職場に「コンプライアンス」は重要だという意識は浸透していますか？



▼あなたは、日常業務において法律、ルールもしくは倫理上の問題に直面した時、「ホットライン」を利用しますか？



■ はい ■ どちらでもない ■ いいえ ■ 無回答

リスクマネジメント活動

パナックでは、会社法の施行に伴い、内部統制の構築の一環として、リスク管理委員会を設置しました。

大地震発生時の社員の安全と顧客への製品・サービスの提供の確保を第一として、対策の検討や実行性と実効が期待できる手順策定に、注力しています。

新型インフルエンザ対策

パナックでは、2009年6月のWHOのパンデミック宣言時には、対策本部の主導の下、社員の移動の自粛・禁止はもとより、予防の実施と予防用品の備蓄に努めました。

また、パンデミック宣言前より、海外赴任者へはその家族を含めて「新型インフルエンザ対策キット」を支給し、予防に努めました。

環境・安全の推進

環境負荷物質の削減

富士宮工場では、2010年に、クリーンコーターを新設しました。これに伴い、最新鋭のVOC処理設備及びマイクロガスタービンを導入し、VOCの処理効率について98%以上を維持しつつ、エネルギー効率については、原単位換算で前年比「LPG31.6%削減、購入電力22.8%削減」を達成することができました。

これにより、地球環境や地域環境に貢献する生産活動を推進することができました。

亀山工場でも、コーティングラインで発生するVOCを、98%以上の処理効率で熱分解する装置を設置している他、工場より排出される廃材の分別作業を徹底して行い、積極的にリサイクル対応を推進し産業廃棄物の廃棄量を削減するとともに、リサイクル不可能な廃材については、RDF等のサーマルリサイクルへの活用を行い環境負荷物質の削減に努めています。

チームマイナス6%活動への参加

パナックでは、経営理念にも地球環境保護を掲げています。

生産部門での省エネルギー活動を始め、全社での夏期(6~9月)のクールビズ活動、こまめな消灯活動を通して、意識的に取り組んでいます。



化学物質管理

近年の欧州RoHS指令、REACH規制など製品に対する化学物質規制が急速に高まっています。

このような背景により各種規制への対応を強化するため、グリーン調達基準書を制定・改訂しています。

サプライチェーンを含めた化学物質情報管理体制を推進し、お客様への情報提供(MSDS、RoHS分析データ)に注力していきます。

区分	対象物質
使用禁止物質	RoHS 指令対象物質、アスベスト、PFOS、ヘキサクロロベンゼン、ヒ素、ベリリウム等
管理物質	アンチモン、ポリ塩化ビニル、ヘキサブロモシクロドデカン等

◎ <http://www.panac.co.jp/activity/greenProcurement.html>参照。

ISO14001 認証取得の推進(富士宮工場)

富士宮工場では、2011年3月迄にISO14001の認証取得を目標とした準備活動を推進しました。

2009年度の活動内容としては、環境ISO認証取得準備委員会を発足させ、工場長、開発部長をトップとし、各部署より推進委員を選出することにより、準備段階より全体参加での組織体制の構築を進めました。また、社外研修受講による内部監査員の拡充や環境システムの構築に必要な最新知識の習得を行い、月例会を通じて全社員教育も行いました。

具体的なシステム構築については環境側面の抽出や、各課単位での目的・目標の設定等、次年度に繋がる活動を推進し、併せて、環境マニュアルや環境規定等の書類の整備も年度内で完了しました。

2010年度は更に環境内部監査を実施し、実際の取得審査を前提としたシステムチェックを行うと共に、我々が地球環境・地域環境を意識した生産活動ができているのか、ISO14001 認証取得活動を通じ改善を行っていきます。

防災訓練

富士宮工場・亀山工場では、9月1日の全国防災の日を忘れないように、毎年9～10月に、地震発生を想定し、避難、消火訓練等の防災訓練を実施しています。2009年度も実施しました。



富士宮工場防災訓練



亀山工場防災訓練

労働災害度数率

富士宮工場、亀山工場では、安全衛生委員会を組織し、毎月の委員会の開催、安全・衛生・5S巡視、安全教育、新設備の安全評価等の活動を行ってきましたが、2009年度は、4件の不慮災害を発生させてしまいました。

2010年度は、災害0を目指して、安全活動のレベルアップを図ります。

▼ パナック労働災害度数率



品質保証と顧客満足への推進

ISO9001 マネジメントシステム

パナックでは品質保証体制を整えるため、国内外の各主要拠点でISO9001 認証を取得しております。

パナック本社 品質方針

- ① お客様のニーズと期待に応える環境に配慮したプラスチックフィルム製品及びサービスを提供し、お客様第一主義を貫く。
- ② 社会とお客様の要求事項や規制要求事項を満たすとともに、加工品事業における自立を実現する。
- ③ 品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善し、業務の遂行をより効果的に推進する。

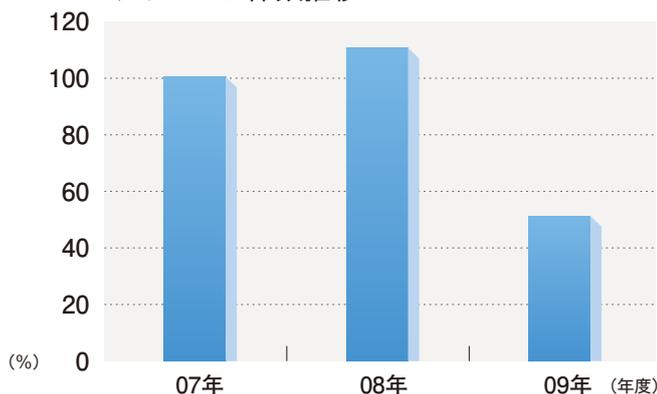
▼ 国内外パナックの品質ISO認証登録状況

国内			海外					
本社	亀山工場	富士宮工場	香港パナック	深圳工場	上海パナック	台湾パナック	蘇州パナック	裕昌光電
2004.4.26	1998.4.6	2006.3.6	1997.6.2	1997.6.2	1999.9.27	2000.3.27	2005.3.8	2005.7.1

クレームへの対応

パナックではクレームの情報をデータベース化しております。トラブル時には過去のクレーム・コンプレイン情報の集積から対応を把握し、迅速にお客様にフィードバックすることができます。ISO9001を中心とした改善活動を行う事によりクレームを低減しております。

▼ クレーム件数推移



QC研修

パナックでは、品質保証体制向上の一環としてQC7つ道具を中心とした品質基礎知識の研修を営業部門対象に実施しております。

全五回に亘る講義で現場の生のデータを活用し、作図、作表、ディスカッションを中心に研修を実施しております。今後も営業所、管理部門へ研修を展開し、全社的な品質基礎知識の向上を図っていきます。



QC研修受講風景

社員の成長と ワークライフバランスの推進



育児支援、障がい者休暇・雇用の推進

パナックでは、大企業のような厚生施設を設けることなどの支援はできませんが、短時間労働など法の求めよりも緩やかな対応をすることで、育児支援をしています。

また、障がいを持たれた社員については、通院のための特別休暇を付与し、就労の支援をしています。

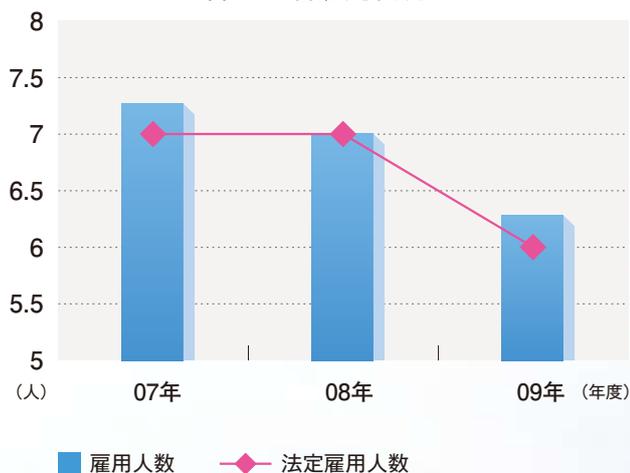
障がい者雇用についても、法定雇用人数をカバーしています。

過重労働対策、メンタルヘルスの推進

社員の過労働を回避すべく、「ノー残業デー」の実施や、毎月中間での残業時間管理を通じて削減意識向上を促し、36協定の遵守はもとより、一層の削減に注力しています。

また、精神科の産業医を配置し、メンタルヘルスにも注力しています。

▼ パナック障がい者雇用状況



CSR調達推進



購買基本方針

パナック購買部門は、「パナック企業行動憲章」及び「パナック行動規範」に基づいて、関係法令の遵守、公正な取引のもとで、必要な資材・サービス等を適切な品質・納期で調達し、お客様が求める価値ある商品の提供に貢献しています。

購買活動においても、お客様のご協力のもとで、CSR(企業の社会的責任)活動の推進に積極的に取り組んでいきます。

具体的には、4つの基本的な考え方に基づき、購買活動を行います。

◆基本的な考え方

1. 公明正大に、国内外の全ての企業に公平な機会を設け、公正な評価のもとで購買活動を行います。
2. 法令、社会規範を遵守し、お客様との相互協力、信頼関係の構築に努めます。
3. 購買活動を通して、地球環境保全などの社会的責任を果たしていきます。
4. 最適な品質とコストを追求します。

◎ <http://www.panac.co.jp/csr/procurementpolicy.html>参照。

サプライチェーンCSR推進ガイドブック

パナックは、CSRを「社会的責任を果たしながら事業活動に取り組むことによって、社会の中で持続的に発展し、社会に貢献すること」と考え、2008年より、CSR活動に取り組んできました。

このパナックのCSR推進活動をお取引先様にご理解をいただくとともに、CSR推進の観点から、お取引先様にご協力いただきたい項目を明確にする事で、お取引先様とともにCSRを推進していく目的として、「サプライチェーンCSR推進ガイドブック」を制定しました。



◎ <http://www.panac.co.jp/csr/SupplyChainCSR.pdf>参照。

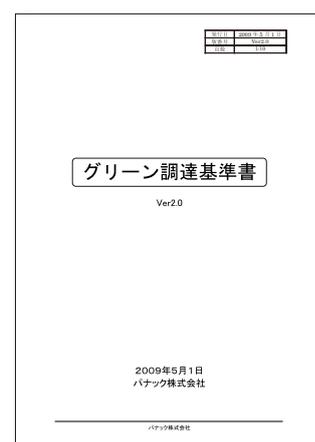
グリーン調達

パナックは、グリーン調達の基本的な考え方「環境の保全に積極的に取り組んでいるお取引先様から、環境負荷の少ない資材を優先的に調達する」に基づき、グリーン調達活動を推進しています。

EUでは、2006年7月から「RoHS指令」が施行されていますが、2007年6月には「REACH規制」が施行され、製品に含有する化学物質に関する法規制が強化されています。

以上の背景から、弊社では2006年、「グリーン調達基準書」を制定しました。パナックでは、本グリーン調達基準書の遵守をお取引先様との取引条件とさせていただきます。

◎ <http://www.panac.co.jp/activity/greenProcurement.html>参照。



社会貢献活動の推進



義援金寄付、文化活動の協賛

パナックでは、皆様に信頼される企業、一企業市民として、国内外において、人と人が手を結び合い、持続可能で健康的な関係を共有することを目的に、社会貢献活動に取り組んでいます。

夢ある明日に向けて、豊かな社会の実現を次世代につなげていきたいと思っています。

災害被災者救援活動への義援金寄付や、文化活動の協賛など、積極的に展開しています。

■ 災害被災者救援活動への義援金寄付活動

- ・中国四川大地震義援金(2008.6.3)
- ・ミャンマーサイクロン災害義援金(2008.6.3)
- ・インドネシアジャワ中部地震義援金(2006.6.14)等

■ ユニセフ募金

パナックでは、ユニセフの社会活動に賛同し、募金活動を支援しています。

■ 交通安全「黄色帽子」

パナックでは、「児童の交通事故ゼロ」を目指し、新入学児童に黄色い帽子を配付する、「黄色帽子」活動を支援しています。

■ サイトウキネンフェスティバル松本への協賛

サイトウ・キネン・オーケストラは、1984年、世界各地に散る同門の志が、恩師斎藤秀雄先生没後10年に集い、メモリアルコンサートを開いたことから生まれた、世界に類をみないオーケストラです。パナックでは、1992年より、同フェスティバルに協賛しています。

◎ <http://www.panac.co.jp/activity/index.html> 参照。



写真提供: サイトウ・キネン・フェスティバル松本実行委員会

工場周辺清掃活動

富士宮工場、亀山工場では、地区の環境月間とタイアップし、工場周辺の清掃を2回行いました。



富士宮工場周辺清掃

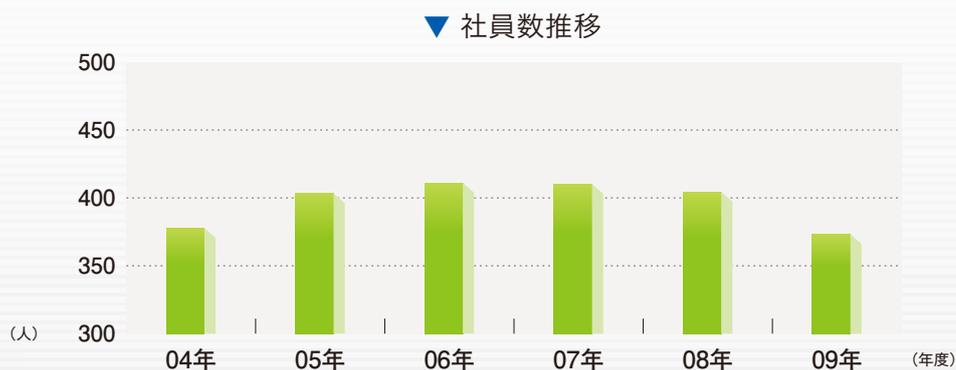
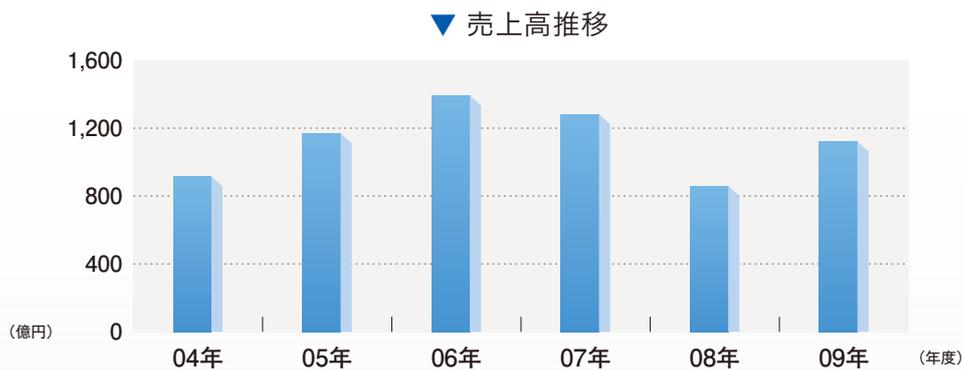
会社概要

会社名	パナック株式会社 PANAC Co.,Ltd.
本社設立	〒108-0014 東京都港区芝5-31-19 オーエックス田町ビル 1979年1月12日(創業1933年)
資本金	3億1000万円
代表取締役社長	宮下 正博
従業員	377名
営業拠点	大阪営業所(大阪府)、名古屋営業所(愛知県)、松本営業所(長野県) 尾道営業所(広島県)、三重営業所(三重県)、熊本営業所(熊本県)
生産拠点	富士宮工場(静岡県)、亀山工場(三重県)
関連会社	シエス株式会社(東京都) 台湾パナック(台湾)、香港パナック(中国)、上海パナック(中国) 蘇州パナック(中国)、裕昌光電株式会社(韓国)、パナックコリア(韓国)

事業内容

- 富士フィルム株式会社特約代理店として「フジタック」、「WVフィルム」、その他各種産業材料の特約販売
- 株式会社サンリッツ代理店として高級プラスチック偏光フィルムの加工及び販売
- 東レ株式会社の「ルミラー」、東レ・デュポン株式会社の「カプトン」をはじめとして、メーカー各社の各種高機能プラスチックフィルムを、工業材料、電子材料分野に加工及び販売
- 加工技術 コーティング加工/ラミネート加工/プロテクト加工/マット加工/スリット加工/カット加工/抜加工/染色加工/印刷加工/蒸着加工 他

売上高・社員数の推移





パナック株式会社

本社	〒108-0014 東京都港区芝5-31-19 オーエックス田町ビル	TEL. 03-5442-8771(代)	FAX. 03-5442-2063
大阪営業所	〒530-0044 大阪市北区東天満2-9-1 若杉センタービル本館 8F	TEL. 06-6353-7051(代)	FAX. 06-6357-7333
名古屋営業所	〒461-0001 名古屋市東区泉3-7-5 サノヤオフィスビル	TEL. 052-932-3461(代)	FAX. 052-931-3235
松本営業所	〒390-0874 長野県松本市大手1-3-28 神山ビル	TEL. 0263-39-6100(代)	FAX. 0263-39-5700
尾道営業所	〒722-0037 広島県尾道市西御所町14-15 第6堀田ビル	TEL. 0848-23-3435(代)	FAX. 0848-23-3326
三重営業所	〒514-0004 三重県津市栄町1-820 ルミナスパレス101号	TEL. 059-213-3081(代)	FAX. 059-213-3082
熊本営業所	〒862-0976 熊本県熊本市九品寺2-1-24 熊本九品寺ビル	TEL. 096-212-7400(代)	FAX. 096-212-7412
亀山工場	〒519-0214 三重県亀山市長明寺町250-10	TEL. 0595-82-8760(代)	FAX. 0595-82-8753
富士宮工場	〒418-0112 静岡県富士宮市北山5961-1	TEL. 0544-58-8795(代)	FAX. 0544-58-8793
海外事業所	台湾パナック(台中市西屯区)	TEL. 886-4-23590011	
	香港パナック(香港銅鑼灣)	TEL. 852-28816700	
	深圳工場(深圳市宝安区)	TEL. 86-755-27787140	
	上海パナック(上海市外高橋保稅区)	TEL. 86-21-58667070	
	蘇州パナック(蘇州市新区)	TEL. 86-512-68411115	
	裕昌光電(韓国平澤市)	TEL. 82-31-683-9726	
	パナックコリア(韓国ソウル市)	TEL. 82-2-325-1946	
